



月に1回、少年少女発明クラブの活動のため、4年生以上の受け入れとなった。クラブ活動は、柳井市内にある市理科研修所を会場に毎週第2、4土曜日の午後1時30分から行っている。活動は、おもしろ実験やアイデア工作、動くおもちゃづくり、科学工作、電子工作など、様々な作品づくりに取り組む

公用車に自社広告を掲載

柳井市 地元文具店が第1号、市内走行

柳井市は15日から、企業広告を掲載した公用車を走らせている。

これは、市が自主財源確保を目的に募集していた「公用車への広告掲載」

事業の一環。今回、申し込みがあったのは、市内白壁通りに本社を置き、市内中央3丁目にも店舗を構える有木阪堂文堂(木阪泰之社長)の1社。

運行初日の15日朝、木阪社長が市役所を訪れ、対象公用車(軽貨物自動車)の後部座席両側面ドアに自社広告のマグネットシート(縦45センチ、横60センチ)を貼り付けた。

広告には「つくれる柳井の文具屋さん」「中央店の白壁本店 木阪賞文堂」の文字と自社オリジナル商品「金魚ノート」の図柄が描かれている。

市によると、この公用車の走行日数は年間230日程度で、走行距離は月間平均約800キロ。主に市内各所を走行し、各課が共同で利用する。

同社の契約期間は、7月14日までの3カ月間。木阪社長は「広報やないを見て、掲載することを決めた。会社のPRとともに金魚ノートや白壁の瓦などをデザインした広

告を見てもらうことで柳井のPRにもつながると思う。契約は3カ月間だが、それ以降の継続も検討している」と話していた。

市では、4月1日から公用車4台への広告掲載を募集しているが、申し込みがあったのは今回が初めて。残りの3台においては随時、募集している。

広告掲載料は、1台当たり月3200円で、掲載期間は、1年または1カ月単位で、最長3年間まで更新可能。市ではすでに平成23年4月から、ごみ収集車(パッカー)へ



の広告掲載を行っている。問い合わせ先は、柳井市役所総務部財政課(0820-22-2111内線142)まで。(写真は公用車に自社広告のマグネットを貼り付ける木阪社長)

1000人訪れ、楽しい

柳井 第16回伊保庄春まつり

今年で16回目を迎えた「いほのしょう春まつり」が14日、市内伊保庄の市立柳井南小学校前にある田んぼで行われ、1000人以上の人出で賑わった。同まつり実行委員会主催、同地区コミュニティ協議会後援。当日は好天に恵まれたこともあり、まつり開始と同時に大勢の来場者が詰め掛け、多彩なイベントを満喫した。ステージでは、地元の柳井太鼓がオープニングで

